

第6回「まちづくりびとサロン」の開催



開催日：平成 25 年 3 月 26 日(火)

時 間：18 時 30 分～20 時 30 分

場 所：名古屋都市センター 11 階 カフェ

参加者：26 名

名古屋都市センターの講座修了生で、まちづくりびとの登録をしている方及び地域でまちづくり活動を行っている団体等にご案内し、交流会を開催しました。

今年度最後となる今回は、事前申し込みされた方以外にも、当日参加の方やお知り合いの方と一緒に参加していただいた方も何人かありました。

会場の名古屋都市センター11階カフェが終了しているため、参加者の皆さんのが飲み物・食べ物などを持ち寄っていただきました。なかでも手作りのおむすびは大好評でした。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



ミニレクチャー

今回は、ミニレクチャーとして、まちづくりびとで4月から社会人となる花田大輝さんに「まちづくり会議で有効なファシリテーションのテクニックとは」と題して名古屋工業大学大学院で研究した成果を発表していただきました。

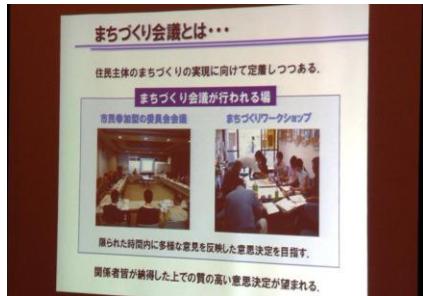


研究では、時間の制限のあるなか会議を円滑に進め、参加者からの意見をより多く促すファシリテーターの役割の重要性と誰もがファシリテーター役をこなせるためのテクニックを会議の模擬実験を行い検証してみたそうです。

実験では、発言者の機能や所要時間の推移を分析し、時系列のグラフに表し、会議の過程を可視化させ検証されました。ファシリテーターの関与の度合いを発言者の偏り、沈黙の頻度との関係性に着眼し、ファシリテーターが積極的に関与した場合、ファシリテーターの発

言する機会が多いと意見が出しづらくなる傾向があり、沈黙に耐えて発言を傾聴することが、自発的な議論を促進すると推察できました。

また、論点が逸れた局面での対応として、もとの論点と共通する語集の復唱が主題と関連の無い話題の展開を防ぐことができる事が評価されました。



発表後、参加者からのするどい質疑にとまどいながら応答する場面もありましたが、これから社会人として活躍を期待される花田さんへ向けて、諸先輩から温かい声援が送られていました。



交流会

テーブルごとで、情報提供や収集、意見交換などをお互いに行いながら交流しました。



最後に、年度替わりで異動や退職する
都市センター職員のあいさつがあり、今
年度のサロンを終了しました。



*アンケートより

全体を通じたご意見・ご感想など

- ・ みんなの自己紹介を伺いたかったです。（時間がかかるてしまうかもしれません…）
- ・ インターンシップから半年ですが、このような素晴らしい場に会えて本当に嬉しかったです。ありがとうございました。
- ・ またね！
- ・ 鬼頭さん、清水さん、柴田さん、立松さん、これからも、このサロンをしっかりサポートして下さい。
- ・ 意見が様々あり、その答えも様々である。
- ・ おくり出す方はいつもつらいですね。みんなのこれからのご活躍を！
- ・ 発表は大変、勉強になりました。
- ・ 楽しかった。
- ・ 又、お邪魔致します。
- ・ 市民（住民）主体の街づくりは民主主義の出発点で、ソフト面の充実も視野に入れていきましょう。
- ・ 明るく笑顔で話ができる、すばらしいです。若い方のエキスも多々いただきました。今後も参加させて頂きます。
- ・ 貴重な経験をさせていただきました。大変お世話になりました。今後ともよろしくお願ひいたします。
- ・ もっと他の人の来年度の夢を聞きたかった。
- ・ やっぱりずっと続けてほしいです。
- ・ 都市センターの職員の方々、新しい職場でがんばって下さい。今後とも勉強して、なにかの役に立つ様、努力します。